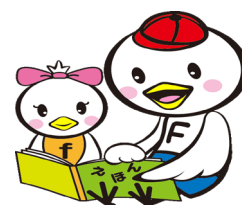


福岡市子ども読書活動推進計画(第4次)

(3) 図書館における読書活動の推進



福岡市には、総合図書館を本館として各区に11の分館があります。総合図書館には、こども図書館もあり、各館では、子どもも大人も本と出会い、読書を楽しんでいます。また、子どもには、本の楽しさを伝えるために多くの読書ボランティアと連携して、おはなし会を実施しています。機会があればご参加ください。

また、年齢に応じた図書や絵本、紙芝居、パネルシアター等を収集し、貸出するだけでなく、読書活動ボランティア講座の開催、ホームページ等での様々な情報提供を行うとともに、総合図書館にある点字図書館においては視覚障がいのある子ども向けに点字図書や録音図書を収集・貸出を行っています。

このほか、地域における読書活動を支援するための団体貸出や、学校図書館を支援するための学校図書館支援センターの運営など、図書館では、家庭、地域、学校等すべての読書活動の拠点として、子どもたちに読書の楽しさを広く伝えていく活動を含め、誰もが利用しやすい図書館としての充実を推進していきます。

福岡市総合図書館『こどもとしょかん』紹介



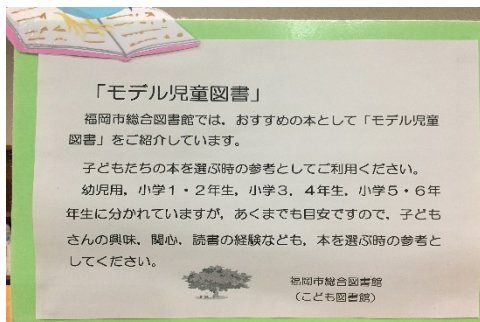
総合図書館『こどもとしょかん』では、子どもたちに「本を読む楽しさを感じてほしい。」また、保護者の方々には、子どもたちの発達段階に応じて「こんな本を読んであげてほしい。」という思いから、さまざまな展示コーナーを設けています。

<季節や行事にあわせた展示>



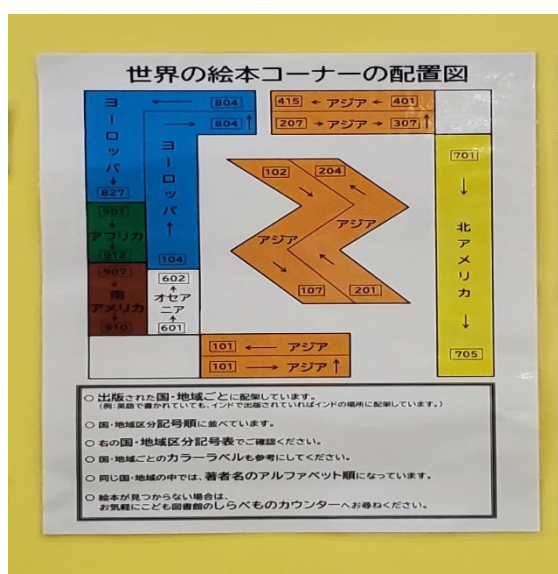
『こどもとしょかん』に行くとき最初に目にするコーナーです。季節や行事ごとにさまざまな展示をしています。現在は、「なぞ」というテーマで、なぞなぞ、不思議な本や推理小説の展示をおこなっています。

<発達段階に応じた本の紹介>



子どもの発達段階に応じて、「モデル図書」として紹介しています。どんな本を子どもに選んだら良いのかと迷われた時の参考となります。福岡市総合図書館のホームページでも紹介しています。

<外国語の本>



アジア . . . 25 ヶ国

ヨーロッパ . . . 26 ヶ国

南アメリカ . . . 4 ヶ国

北アメリカ . . . 6 ヶ国

アフリカ . . . 7 ヶ国

オセアニア . . . 2 ヶ国

国際都市「福岡」には、日本語を母語としない方々も数多く住んでいらっしゃいます。

『こどもとしゃかん』では、70ヶ国、6705冊の絵本をそろえ、多数の言語に対応しています。総合図書館のホームページより言語区分別に、絵本を検索できます。機会がありましたら、ご利用ください。

総合図書館ホームページより検索

本を探す (Web O P A C) → 蔵書検索画面 → いろいろ検索 → キーワード4 (分類)

→ FNT (外国語絵本の意味) と入力 → 希望する言語区分に

6月雨に濡れた紫陽花が色とりどりに咲いています。こんな色の紫陽花もあつたのだなと、その美しさに心がなごみます。今年は例年より早く梅雨入りしましたが、雨の日が少ないように思います。久しぶりの雨の日は雨音を聞きながら、先生のおとのおきの1冊の「読み聞かせ」をしたり、「読書クイズ」を出し合ったりと、子どもたちと読書を楽しんでみてください。

「読書の秋」に加えて、「読書の梅雨」も…と、思うこの頃です。

(須藤)



7月のことと人

7.11 世界人口デー

1987年(昭和62年)のこの日、世界の人口が50億人を突破した。国連は、この日に当時のユーゴスラビアのザグレブで生まれた男の子を50億人目と認定した。この国際デーは、世界の人口問題について関心を深めてもらうことを目的としている。

7.17 祝日 海の日

1995年(平成7年)に「国民の祝日」として7月20日が「海の日」に制定される。2003年(平成15年)の祝日法改正により、7月の第3月曜日となった。「海の日」は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨としている。

新美 南吉(1913.7.30~1943.3.22)

愛知生まれの児童文学作家。代表作『ごんぎつね』は、雑誌『赤い鳥』(1932年)に掲載される。結核により29歳で亡くなったため、作品数は多くない。童話の他に童謡、詩、短歌、俳句等も残している。

米倉 斉加年(1934.7.10~2014.8.26)

福岡市生まれ。警固中学校卒業。絵本作家であるとともに、俳優、絵師としても活躍する。本文・挿絵とも米倉による著書『おとなになれなかった弟たちに…』は、1987年以来、中学1年生の国語教科書(光村図書)に採用されている。

アーネスト・ミラー・ヘミングウェイ

(1899.7.21~1961.7.2)

アメリカ合衆国生まれの小説家・詩人。創作された独特でシンプルな文体は、20世紀の文学界と人々のライフスタイルに多大な影響を与えた。1954年にノーベル文学賞を受賞している。

ダレン・シャン(1972.7.2~)

イギリス生まれ。ファンタジー小説『ダレン・シャン』は、いとこのために書き始めたものであった。当初は、1巻までの予定だったが、出版社からの要望によってシリーズ化されている。

今月は、いよいよ現実味をおびてきた、宇宙旅行についての本をご紹介します。

『はじめての宇宙旅行ガイド 1 ISS に泊まる旅行』（2022年）

『はじめての宇宙旅行ガイド 2 月・火星を訪ねる旅行』（2023年）

寺園 淳也／監修 フレーベル館 ¥3800(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆★★ 小高学年★★★★ 中学生★★★

高校★☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

本書では、そもそも宇宙とは地上からどのくらい離れたところをいうのか、太陽系や銀河系について、などの宇宙の基礎知識からはじまり、1巻では ISS(国際宇宙ステーション)、2巻では月・火星への宇宙旅行の現在について紹介されています。そして、宇宙旅行のためには、どのような移動方法で、どんな訓練をするのか、どうすれば参加ができるのか、そしていくらかかるのか……。具体的な方法が示されているので、宇宙への興味のきっかけだけでなく、すでに宇宙事業を志す子どもたちへの励みになる一冊です。

<子どもに手渡す時のポイント>

本書で紹介されている内容は、宇宙の基礎知識、ISS や月・火星探索など、多岐にわたるため、より深く知るために、是非、図書館をご利用ください。月、火星については分類番号44、ロケットや、ISS、月や火星の探査機については分類番号53の本を読んで、詳しい情報を調べてみて下さい。

わからなければ、図書館の司書にもお尋ね下さい。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。